

# W O N D E R K A M I

兵庫県美方郡 香美町 | 移住定住ガイドブック

自分だけの旗を立て、夢に挑む町。



海、山、里、自由。香美町に生きる。



W O N D E R K A M I





自分だけの旗を立て、夢に挑む町。

海と暮らす、香住

文化香る町、村岡

美しい里山、小代





人口/世帯数 17,163人 / 6,475世帯 (2020年4月1日現在)

面積 368.77 km<sup>2</sup>

地形 日本海に面する。全域が山陰海岸ジオパークに属し、町内に山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園の一部を有する。小代区に源を発し香住区で日本海にそそぐ矢田川が流れる。

気候 夏は最高気温30度を超えるものの、日が落ちると気温が下がり、夜の最低気温は20°Cを切ることも。12~2月は積雪があり、冬はスタッドレスタイヤ必須。

産業 建設業、製造業、卸売・小売業や観光関連サービス業などが盛ん。その他、畜産業・農業や漁業など、この土地ならではの産業も。

歴史 2005年城崎郡香住町、美方郡美方町・村岡町の合併により誕生。香住区は香住海岸の絶景を江戸時代の儒学者皆川淇園により「月波樓の記」の中に書き残される。村岡区は清和源氏の流れを汲む山名豊国が初代藩主となり、城下町として栄えた。小代区は但馬牛の基礎となる名牛「田尻号」を生み出し、和牛のふるさとと呼ばれる。

公式ホームページ <https://www.town.mikata-kami.lg.jp>

総面積の約6割が自然公園区域に指定され、  
日本海から山間地域まで海、山、里の豊かな自然に恵まれた香美町。

道の駅や直売所、香住朝市センターで毎日手に入る新鮮な農・海産物。

少し足を伸ばせば広がる雄大な海。

沢登りや登山者の前に悠々とそびえる山々。

雪の季節には多くの人々が集うスキー場。

豊かさと厳しさをあわせ持つ

香美町でしか味わえない質実剛健な魅力が、そこにはある。

# 海と暮らす、香住



海とともに生き、海とともに暮らす。  
山陰有数の漁港「香住港」と「柴山港」をもち、香住ガニ等の水産品が有名なほか、水産加工業も盛ん。海沿いに漁師町が広がる一方で商業施設や行政の中心でもある。



## 地元の人の応援を受け、 香住の魚の魅力を発信。

### 新天地に「駅前」を選んだ理由

シックな色合いにシャープな造り、一見カフェを思わせる建物が香住駅徒歩 0 分にある。一步足を踏み入ると、新鮮な海産物や水産加工品が立ち並ぶ、魚屋さんだった。「実際、カフェと間違えて入ってこられる方もいらっしゃる」と、原田さんは笑顔を見せる。豊富に並べられた海産物コーナーの奥には、イートインスペースもあり、観光や仕事で香美町に来た帰りに立ち寄ったという人、顔をよく知る地元の人たちも、ホッと一息ついていくことが多いという。

香住の水産加工を営む家に生まれ、魚に関わる仕事をするのは原田さん自身の夢でもあったという。高校卒業後は海産物店に 20 年余り勤め 2016 年に独立、夫婦で「魚や はらとく」をオープンさせた。

「魚や はらとく」のある香住駅前の周辺には、お店がほとんどない。インパクトのある外観のお店を構えることで、「ここをきっかけに、新しいお店が増えていったら」と、駅前を選んだのには、そんな理由もあった。「お客様が電車を降りて最初に見る風景。そして、最後に何か買っていかうかなと考えて下さる場所。駅の中の販売店も、駅前の小売店も次々なくなり、使いにくい駅や駅前になるのがずっと気になっていました」

原田さんの独立には、個人の夢を叶えたい想いだけでなく、「地元を元気にしたい」という切なる願いがあった。

### 思い立ったら行動！

#### 地元を元気にするために

地域を元気にしたいと動く若い力を、地域の人たちは全力で応援する。「近くに魚屋ができてありがたい」と毎朝買いに来てくれる地域の方々に支えられているという。「地域の中でなくなってしまったもの、寂しくなってしまったものがまた復活する、そういうところへの応援を強く感じます」

また、香美町には魚食の普及を図ることを目的とした通称「香美町とと条例」が制定されており、推進活動を行う団体「香美町とと活隊」に原田さんも所属。魚食普及推進のイベントの企画開催など多彩な活動を行い、海産物関係の多くの業種の方々が手を取り合っている。料理教室を開いてほしいなど、オファーも増え、その活動は広がっている。

### 人と共に海の豊かな資源を発信したい

「香美町には、海産物を始め大きな魅力がいっぱいある。でも、それを PR する力は弱いので、どんどん発信してくれるような人が香美町に来てくれたらうれしいですね」

今後は駅前のイベントスペース等でどんどん海産物の魅力を発信できたらと語る原田さん。地域を愛し、地元のために一旗揚げた彼の挑戦はまだ始まったばかりだ。



行動することによって、  
地域の人が応援してくれた。

# 文化香る町、村岡



江戸時代に城下町として栄えた村岡。  
旗本山名氏が構えた陣屋や、武家屋敷  
などの情緒が残る町中。上級者の集うス  
キー場で知られる山岳。大規模農家や  
企業拠点からなる文化と経済の中心地。



## 手に届く場所で満ち足りる、 相岡の暮らしと仕事。

けいおか

### 豊かな四季折々の風景と営みがある 相岡に惹かれて

標高約 500mの山上にある集落、相岡で育った元気さんと、千葉県出身の葉子さんが出会ったのは東京だった。東京のイタリアンレストランで働いていた元気さんだが、ものづくりが好きな二人は、趣味でパンを焼きハンドメイドやクラフトを楽しんでいた。長い休みが取れるたび、元気さんの故郷である相岡へ。葉子さんも元気さんのお母様と一緒に山に入り季節の手仕事を楽しみ、自然や四季折々の風景を満喫しているうちに、自然と相岡という土地に惹かれるようになった。

二人が「相岡に帰ろうか」と考え始めた頃、お母様から「家業の民宿を閉めようと思う」と聞いた。現在 JINEN AN である古民家はこの民宿だったが、冬の間、村の人達が集まってものづくりをする大切な集いの場でもあった。「ここは人が集まる場所だから、お店をしてもいいかもしれない」。和風の民宿を自分たちらしく、自分たちの手でリノベーションしようと思うようになっていった。

### 畑に入り、山に入り、ピッツァを焼く。 めぐりつなげる暮らしのスタート

毎年12月から翌年3月ごろまで、JINEN AN は冬季休業に入る。その「冬ごもり」の季節に、毎年少しずつ改装を兼ねて、より居心地の良い空間へと手入れを重ねている。また、この時期に好きなものづくりにも励み、店で展示販売も行う。

4月から11月も、営業日は週のうち4日間。残りの3日は畑作業や、持ち山の手入れをしていたが、そこで見えてきたことがあった。

「山から切り出した薪を燃料にして、石窯でピッツァを焼いたらどうだろう。でも、毎日開店して薪を過剰に使い過ぎると、里山の自然環境のバランスが崩れてしまいかねない。この村でできることを考えた時、一週間の中でお店に携われる時間は3、4日が目一杯だと感じました。山や畑にいる時間をお金に換算するのは難しいけれど、僕たちの大切な生業の時間です。」自然が巡り、つながるピッツェリア JINEN AN はこうして生まれた。

### ここでしかできないことを この場所とともに

国産の小麦粉と、自家製の天然酵母を使って焼き上げるピッツァは生地香ばささと食感が大きな魅力。たとえば、季節のメニュー「ケビナーラ」はその時そこにある食材をもとにレシピを考案。数週間しか取れない食材もあり、常に「今ここにある」、そして「今ここにしかない」季節の恵みを凝縮した一枚になる。

「仕事のために暮らしているわけじゃなく、日常の暮らしが豊かになることで充実した仕事ができたらいいね、と話しています」

自分たちの欲しいものは  
すべてここにありました。





# 美しい里山、小代



美しい棚田が広がる里山の風景。  
「日本で最も美しい村」連合に加盟する他、区内の各所を巡る「みかた残酷マラソン全国大会」等多彩な企画を打ち出す。和牛のふるさとであり畜産を含む小規模農家の多いまち。

## 想いをカタチにする仕事を 小代でもっと心地よく。

### 小代地区にゆるやかに生まれた 「デザイン紡」

中村さんは大阪府に生まれ、小学生から高校までは和田山町（現朝来市）で過ごした。大学卒業後は豊岡市の情報誌等を作るデザイン会社に所属し、営業に向かい自らカメラを構える日々。チラシやパンフレットという媒体でお客様の「想いを伝える、形にする」事にやりがいと喜びを感じていた。

結婚・子育てを機にご主人の実家のある小代区に。はじめは「ここに住めるかな」と不安が大きかったそう。

自宅で子育てに励みながらも、知人の依頼などで個人的に制作の仕事をごこなしていき、地域のネットワークから中村さんの仕事ぶりが話題に。やがて多くの案件を抱えるようになり、「デザイン紡」の屋号を名乗るように。

『よし、やるぞ!』という気概があったわけではなく、ゆるく流れに任せていたら今の形になったという印象です

心地よい風に吹かれるように、軽やかに好きな仕事をする、そのために環境を整える……。中村さんの想いの旗は、とてもゆるやかに小代の地に根付いたものだった。

### 好きな「ものづくり」の仕事と、 日々の生活が溶け込んだ暮らし

「自宅で働いているので、子どもたちにも安心感があったかも。制作の仕事は夜が遅くなることもあるけれど、仕事と家庭の区切りを曖昧にしながらも、夕食から寝るまでの時間は子ど

もたちとたっぷり一緒に過ごせました」

母親として小代の子育て環境についても、中村さんは太鼓判を押す。「人も本当に親切で、地域に子どもたちを知る大人がたくさんいるから、子どもたちが真っ直ぐに育っているように感じます。競争心が育たないのでは?という心配もありましたが、目指すものがあれば大学にも行けるし、競争心より大きなものを育ててくれたんじゃないかな」

「『地方には働くところがない』というイメージがあるかもしれませんが、そこでできることを探して仕事を作るくらいの感覚をもっていいのかも。私も実際やってみて、『意外と一人でできるんだ』と感じました」と、今では同じようにこのフィールドで何かを始める仲間を待っている。

### 小代の地でもっと想いをカタチにしたい

「小代を盛り上げている人のお手伝いをもっとしたいし、様々な地区の様々な業種の方と、制作の仕事を通じて関わっていきたくと思っています。」

また、事務所の古民家をフォトスタジオにもしたい、と夢がどんどん広がっている。

写真撮影、チラシやパンフレットの制作、ウェブづくりなど想いを伝えることをオールマイティにごこなす中村さんは、小代というフィールドで楽しみを広げている。



一人とつながったら、地域のネットワークで一気につながりますよ。

# WORKS

働く

香美町は自分だけの旗を自由に立てられる町。あなたの旗を立てるのはここかもしれない。

## IT関連オフィス等開設・設置支援-----問・企画課

空き家を活用したIT関連事業所等の設置・開設に対して、設備改修費、賃貸料金等の経費の一部を助成。

◆建物等の賃借料及び通信回線使用料  
3年を限度に最大で25,000円/月、30万円/年

◆建物改修費  
最大で75万円 ※事業開始後3年以内に1回に限る。

◆設備費  
事務機器などの取得経費に最大で25万円 ※事業開始時に1回に限る。

## 起業・創業支援-----問・観光商工課

町内に住所を有する方が新たな事業を興す際の経費を最大で50万円助成。

◆対象費用項目  
マーケティングリサーチ費／研修費／法人登記費／広告宣伝費／事務所・店舗等の開設費

### 就職先を探す

ハローワーク香住  
☎ 0796-36-0136

### 香美町企業ガイドブック

香美町の企業、仕事内容を  
紹介する一冊。企業概要の  
他、採用情報も掲載。



## 兵庫県の起業・創業支援-----問・香美町商工会

～兵庫県内で起業・第二創業を目指す方～

◆若手・女性・シニア起業家支援事業  
助成限度額200万円以内 ※空き家を活用する場合（助成率2分の1以内）  
【起業に要する経費】100万円以内  
【空き家活用に要する経費】100万円以内  
対象区分 ①若手起業家（35歳未満）②女性起業家 ③シニア起業家（55歳以上）※年齢はR2.4.1時点

◆ふるさと起業・移転促進事業（一般枠）  
助成限度額300万円以内※県外から住民票を移し空き家を活用する場合（助成率2分の1以内）  
【起業に要する経費】100万円以内  
【空き家活用に要する経費】100万円以内  
【移住に要する経費】100万円以内

～充実したセカンドライフのため地域の課題解決にビジネスでチャレンジする方～

◆高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業  
助成限度額200万円以内※空き家を活用する場合（助成率2分の1以内）  
【起業に要する経費】100万円以内  
【空き家活用に要する経費】100万円以内

\*この他にも起業家支援事業がありますので、詳しくは香美町商工会にご相談ください。

### お問い合わせ

#### ■香美町商工会

☎ 0796-36-0123 (受付 9:00~17:00)  
☎ 0796-36-3322

#### ■香美町 観光商工課 商工労政係

☎ 0796-36-3355 (受付 8:30~17:15)  
☎ 0796-36-3809  
✉ kankoushoukou@town.mikata-kami.lg.jp

#### ■香美町役場 企画課

☎ 0796-36-1962 (受付 8:30~17:15)  
☎ 0796-36-3809  
✉ kikaku@town.mikata-kami.lg.jp

※2020年4月1日現在



あなた次第で変わっていく、関わりしろのある住まい。

## 住まいの支援

空き家バンク登録物件限定のお得な支援から、新築、DIY支援まで。それぞれの住み方・暮らし方に合せた支援を用意しています。

### ◆お試し住宅家賃補助

空き家バンクに登録された住宅をお試しで利用する場合、家賃を最大で25,000円/月助成。(利用開始から最大で12ヶ月分)

### ◆家財道具等搬出・処分補助

空き家バンク登録物件の現存する家財道具等の搬出・処分や屋内・屋外の清掃に必要な経費を最大20万円助成。

### ◆住宅取得奨励金

香美町外に2年以上お住いの方が、香美町内で住宅を取得され居住された場合、奨励金(※1)を交付。新築住宅及び空き家バンク登録物件の場合で最大50万円、中古住宅の場合で最大30万円。

### ◆住宅改修費助成金

住宅機能向上のための改修や模様替えを行った方に、助成金(※1)を交付。空き家バンクに登録された物件の場合で最大100万円。空き家バンクに登録された物件をDIYリフォームする場合で最大50万円の助成。

(※1)町内で使用できる商品券

## 空き家バンク

香美町での暮らしや活動拠点に、地域とつながれる家に住むことも選択肢のひとつ。空き家バンクには、平屋建てから、多世帯で住める離れ付きの大きな家まで、都会の中古住宅物件と比べて多様な物件があります。家族構成、暮らしや仕事のスタイル、将来計画にぴったりの住まいが見つかるかもしれません。

## お問い合わせ

### ■香美町役場 企画課

☎ 0796-36-1962 (受付 8:30~17:15)

☎ 0796-36-3809

✉ kikaku@town.mikata-kami.lg.jp

## 暮らしの情報

地区ごとに、スーパー、ドラッグストア、コンビニ等の生活基盤は整っています。移動手段は主に車。ショッピングや娯楽は車で30分程度の豊岡市や1時間程度の鳥取市等に出かけるのが、香美町暮らしの定番スタイルです。



### 町内アクセス

町内には、香住区の日本海沿岸にJR山陰線の佐津駅、柴山駅、香住駅、鎧駅、餘部駅がある。鉄道は平均して1~2時間に1本の運行。また、村岡区・小代区とは、養父市にあるJR八鹿駅と全但バス、香美町町民バスで結ばれている。日常の交通手段は、基本的に車。積雪地域のため、冬場はスタッドレスタイヤが必需品。



### 医療・公共施設

公立病院、クリニック等個人病院、公民館(図書室含む)、移動図書館(小代、村岡)など基本的な施設は揃っている。



### ショッピング

スーパーへは、車で平均15分ほど。集落内に個人商店(何でも屋さん)がありちょっとした買い物はそこです。



### 教育

小学校はスクールバスあり。中学校は基本徒歩だが一部自転車通学の地域と全但バスを利用する地域も。塾習い事に通うには親の送迎が必要。

※2020年4月1日現在



香美町の食材・人・歴史によって育まれる豊かな子ども時代。

### 支援補助金及び支援制度

香美町の子育て支援は、費用サポート、預かりサポート、仲間づくりサポートの3つで、保護者のさまざまな負担を軽減します。

#### ◆医療費-----問・健康課

0歳～18歳までの子どもの医療費が無料。

#### ◆保育料-----問・教育委員会

第1子及び第2子の保育料は国が定める基準の半額。第3子以降の保育料が無料。2019年10月以降は、3歳以上の保育料が無料。

#### ◆遠距離通園・通学費-----問・教育委員会

公共交通機関がない地域へは、スクールバスが運行している。  
遠距離通園・通学する園児、児童、生徒の通園・通学費を全額補助。

### 保育所から高校まで

#### ◆保育所(園)・認定こども園/5施設

#### ◆幼稚園/9園

#### ◆放課後児童クラブ/10クラブ

#### ◆幼稚園預かり保育----1園

#### ◆子育て支援センター/3か所

#### ◆子育てサークル/9サークル

#### ◆小学校----10校、1分校

#### ◆中学校----4校

トライやる・ウィーク：兵庫県で行われている、5日間の職業体験。中学生が実際に大人と共に働くことで、学校では得られない学びを体験する。

#### ◆高等学校----2校

#### ・兵庫県立香住高等学校

海洋科学科は、県下唯一の水産系学科。オーシャン・アクア・シーフードの3コース。

#### ・兵庫県立村岡高等学校

地域アウトドアスポーツ類型は、全国募集。冒険教育やトレーニング理論など学ぶ。

### 香美町ならではの教育の取り組み

#### △ トリプルチャレンジ大作戦

社会性を育み、広い人間関係をつくるため、小規模校の子どもたちを集め、学校内外で多人数での合同授業や交流学習の機会をつくる。

#### 学校間スーパー連携チャレンジプラン

小規模小学校が連携し、多人数授業や、個別課題に合わせたきめ細かな学習を行う。中学や、高校で出会うかもしれない子どもと友だちになる機会にもなる。

#### 就学前わくわく交流会

町内の幼稚園、こども園、保育所が連携して多くの友だちとのふれあいや切磋琢磨する機会を持つ。

#### 土曜チャレンジ学習

子どもたちにとって豊かな「土曜日」実現のため地域の自然・歴史・文化・人材をいかしてアウトドアやスポーツを体験し、ふるさとの価値を見出す学習。地域活動やアウトドアスポーツに取り組む、県立村岡高等学校とも連携を図っている。

### 地域で育てる教育の取り組み

#### 3つの町民運動

生きる力の基本となる能力を子どもたちに身につけさせるため、『読書』『あいさつ』『体力づくり』を町民あげて取り組んでいる。

#### 日本一のふるさと給食

但馬牛や新鮮な海の幸、丹精込めて育てられた地元産野菜など、ふるさとの食材にこだわった、愛情あふれる香美町ならではの給食。

#### ふるさと教育

地域の協力を得ながら、様々な体験を通してふるさとの良さや価値を見出すことで、ふるさとへの愛着を育てる教育。

#### お問い合わせ

##### ■香美町 健康課

☎ 0796-36-1114 (受付 8:30~17:15)

☎ 0796-36-3809

✉ kenkou@town.mikata-kami.lg.jp

##### ■香美町 教育委員会 こども教育課

##### ■香美町 教育委員会 教育総務課

##### ■香美町 教育委員会 生涯学習課

☎ 0796-94-0101(受付 8:30~17:15)

☎ 0796-98-1532

✉ kyouikusoumu@town.mikata-kami.lg.jp

# ADVISER

移住相談窓口

手掛かりはここ。つながればその先は広がっている。

## 移住促進支援（交通費の補助金）

空き家バンクの物件を実際に見てみませんか。

将来の住まいの候補である空き家。実際に自分の目で見て確かめるのが一番ですが交通費の負担があります。香美町では、移住検討のため香美町へ来られる際に必要な交通費を一部、助成いたします。遠方からでも空き家見学、移住相談へお越しください。

### ◆対象となる経費

香美町への移動に要した公共交通機関・タクシー料金の往復交通費が対象です。【最大2回】  
お車の場合、高速道路通行料のみ対象です。（ガソリン代、レンタカー費用は対象外）

### ◆補助金の額

公共交通機関・タクシー料金、高速道路等通行料の半額を、香美町が負担いたします。  
補助対象経費の50% 上限3万円

### ◆補助金の申請について

香美町へ来るために利用した、対象となった交通費の領収書を添付して、後日申請してください。  
移住促進支援補助金の様式

### お問い合わせ

■香美町役場 企画課

☎ 0796-36-1962（受付 8:30~17:15）

☎ 0796-36-3809

✉ kikaku@town.mikata-kami.lg.jp

※各補助金、支援制度等の内容は、2020年4月1日現在の情報を掲載しています。



# ACCESS

## アクセス

### お車で

- 大阪から \_\_\_\_\_ 約 3 時間
- 神戸から \_\_\_\_\_ 約 2 時間 30 分
- 中国自動車道 [吉川JCT] → 舞鶴若狭自動車道 [春日IC]  
→ 北近畿豊岡自動車道  $\left\{ \begin{array}{l} \text{[日高神鍋高原IC]} \rightarrow \text{R312} \rightarrow \text{R178} \blacktriangleright \text{香住} \\ \text{[八鹿氷ノ山IC]} \rightarrow \text{R9} \blacktriangleright \text{村岡・小代} \end{array} \right.$
- 中国自動車道 [福崎IC] → 播但連絡道路 [和田山JCT]  
→ 北近畿豊岡自動車道  $\left\{ \begin{array}{l} \text{[日高神鍋高原IC]} \rightarrow \text{R312} \rightarrow \text{R178} \blacktriangleright \text{香住} \\ \text{[八鹿氷ノ山IC]} \rightarrow \text{R9} \blacktriangleright \text{村岡・小代} \end{array} \right.$
- 京都から \_\_\_\_\_ 約 3 時間
- 京都縦貫自動車道 → [綾部IC] → 舞鶴若狭自動車道 → [福知山IC] → R9

### 鉄道で

- 大阪から \_\_\_\_\_ 約 3 時間 15 分
- JR山陰本線 特急 (こうのとりの) → [豊岡駅] or [城崎温泉駅] → 普通列車 → [香住駅] ▶ 香住
- JR山陰本線 特急 (はまかぜ) → [香住駅] ▶ 香住
- 京都から \_\_\_\_\_ 約 3 時間
- JR山陰本線 特急 (きのさき) → [豊岡駅] or [城崎温泉駅] → 普通列車 → [香住駅] ▶ 香住
- 神戸から \_\_\_\_\_ 約 2 時間 50 分
- JR山陰本線 特急 (はまかぜ) → [香住駅] ▶ 香住

### バスで

- 大阪から \_\_\_\_\_ 約 3 時間 30 分
- 全但バス(株) 高速バス (大阪→湯村温泉線)  
[阪急三番街バスターミナル] → [村岡停留所] ▶ 村岡・小代
- 神戸から \_\_\_\_\_ 約 3 時間 30 分
- 全但バス(株) 高速バス (神戸→湯村温泉線)  
[神戸三宮バスターミナル] → [村岡停留所] ▶ 村岡・小代



### 香美町役場企画課

〒669-6592

兵庫県美方郡香美町香住区香住 870-1

☎ 0796-36-1962

☎ 0796-36-3809

✉ [kikaku@town.mikata-kami.lg.jp](mailto:kikaku@town.mikata-kami.lg.jp)

受付時間 8:30～17:15 (土日祝日を除く)

<https://kamicho-ijyu.com>